



2020 年分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

年間総取扱量 31万6千トン 前年比 42.8%減



概要

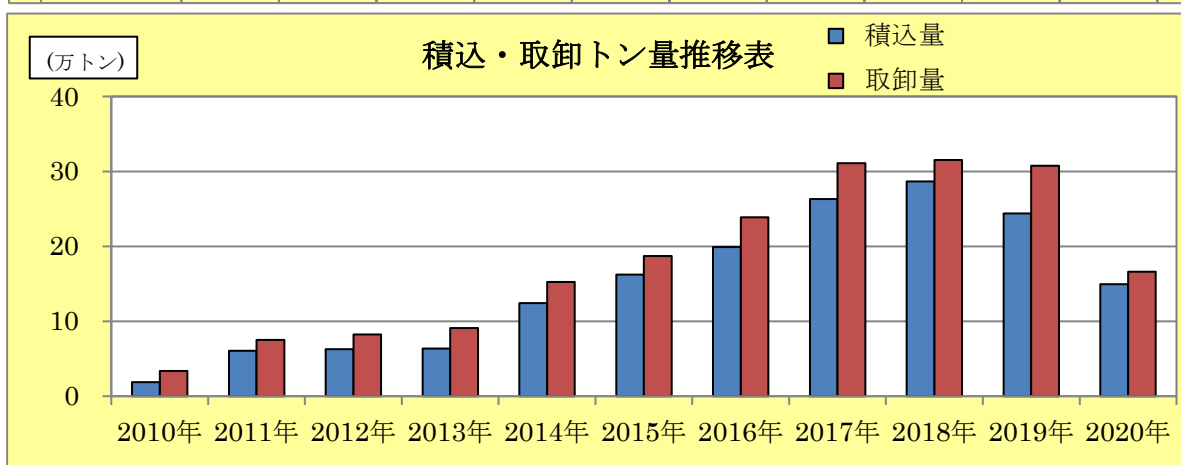
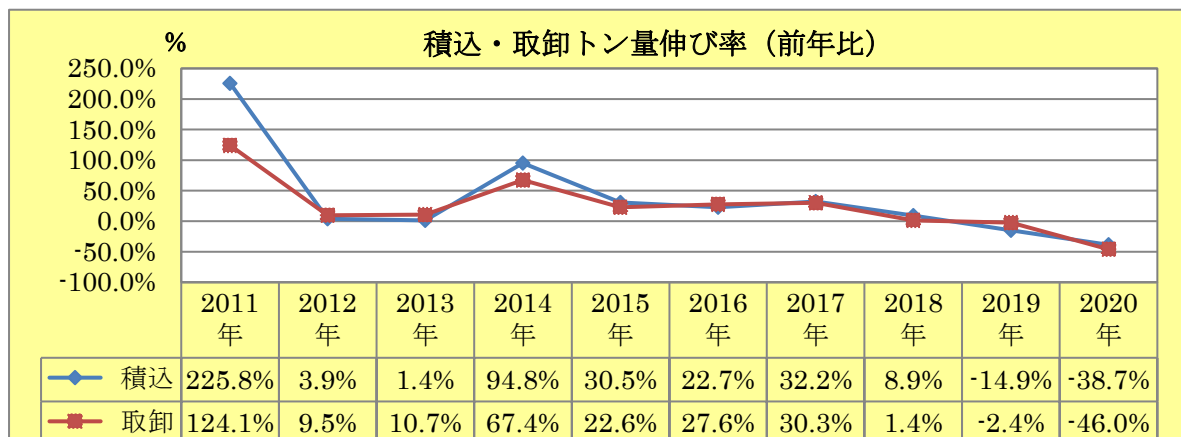
2020年の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 315,640トン(前年比 42.8%減)

積込量 149,350トン(同 38.7%減)

取卸量 166,290トン(同 46.0%減)

となり、対前年比でいずれも2年連続の減少となった。



※2010年10月羽田再国際化

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 8,350トン(前年比 41.0%減、シェア 11.5%)

その他地域通関 64,074トン(同 47.9%減、同 88.5%)

となり、羽田地域通関、その他地域通関が、いずれも減少となった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 51,883トン(前年比 47.5%減、シェア 49.7%)

その他地域通関 52,519トン(同 31.8%減、同 50.3%)

となり、羽田地域通関、その他地域通関が、いずれも減少となった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 76,926トン(前年比 27.9%減)

取卸量 61,888トン(同 53.1%減)

となり、積込量、取卸量が、いずれも増加となった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2020年の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別でみると、

生鮮貨物 9,072トン(前年比 42.9%減、シェア 17.5%)

ドライ貨物 42,811トン(同 48.3%減、同 82.5%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等35.4%(前年比39.1%減)、果物11.4%(同68.0%減)、水産物30.1%(同18.8%減)、植物(切花等)10.0%(同57.7%減)、乳製品8.0%(同45.5%減)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2020年			2019年		
	トン	前年比	構成比	トン	前年比	構成比
羽田空港輸入貨物量	51,883	52.5%	100.0%	98,768	93.8%	100.0%
生鮮	9,072	57.1%	17.5%	15,886	85.9%	16.1%
ドライ	42,811	51.7%	82.5%	82,882	95.5%	83.9%